

第4回 宮城・山形県境部の道路に関する懇談会の概要

1. 日時:令和6年12月16日(月)
15時30分～16時30分
2. 場所:仙台河川国道事務所 大会議室(Web 併用)
3. 出席者:
佐藤 宏 宮城県 土木部道路課長
平山 直人 山形県 県土整備部道路整備課長(Web)
高橋 甚悦 山形県 県土整備部道路整備課 高速道路整備推進室長(Web)
小林 雅史 山形県 県土整備部道路保全課長(Web)
河西 義人 仙台市 建設局道路部長(Web)
石原 佳樹 東北地方整備局 道路部道路計画第一課長
鳴海 芳紀 仙台河川国道事務所 副所長
佐藤 正 山形河川国道事務所 副所長

4. 議事:

(1) 石巻新庄道路の検討状況

- ①高規格道路ネットワークのあり方
- ②国道47号・108号の現状
- ③現道課題の多い区間の抽出
- ④今後の進め方

(2) その他報告事項

- ①国道48号の観光渋滞対策について



5. 議事内容(確認した事項):

- 石巻新庄道路は高規格道路の調査中区間に位置づけられていることから、令和5年10月31日にとりまとめられた「高規格道路ネットワークのあり方 中間とりまとめ」による、高規格道路のサービス速度は概ね60km/h以上とすることについて確認。
- 国道47号・108号の現道課題について確認。
- 石巻新庄道路沿線自治体の考えとして、路線全体のうち、防災面も含め現道課題の多い区間は県境部付近(中山平～瀬見)であることを確認。
- そのうち、現道課題の多い県境部付近を今後さらに絞り込み、優先度の高い区間を抽出することを確認。
- 優先度の高い区間以外の全区間については、評価指標の見直しを踏まえ、改めて評価を実施することを確認。